

男女共同参画会議 第17回重点方針専門調査会	資料10
平成30年10月3日	

(通し番号 151)

「女性活躍加速のための重点方針 2018」

Ⅱ あらゆる分野における女性の活躍

3. あらゆる分野における女性の参画拡大・人材育成

c) 女性の起業に対する支援の強化

(経済産業省説明資料)

女性活躍推進のための基盤整備事業 平成31年度概算要求額 1.9億円 (2.1億円)

事業の内容

事業目的・概要

- 少子高齢社会化の中で、我が国の企業競争力の強化や持続的な成長を実現するためには、女性を含む多様な人材が一層活躍できるようにすることが重要です。

- このため、ダイバーシティ経営や女性活躍の推進、女性の新しいキャリア・ステージとしての「起業」に対する支援を通じ、多様な人材がその能力を最大限発揮できる社会を目指します。

成果目標

- 2020年度までの5年間の事業を通じて、以下を目指します。
 - 1.ダイバーシティ普及アンバサダー事業により、民間企業における女性活躍を推進する。(例：上場企業役員に占める女性の割合：10%)
 - 2.女性起業家等支援ネットワーク事業の開催するセミナー等の参加者のうち、同ネットワーク内構成機関へ起業相談を行った女性の割合：30%
 - 3.女性起業家等支援ネットワーク利用者の5年間での創業率：30%

条件 (対象者、対象行為、補助率等)

(1) ダイバーシティ普及アンバサダー事業



(2) 女性起業家等支援ネットワーク構築事業



事業イメージ

(1) ダイバーシティ普及アンバサダー事業

- 多様な人材の能力を活かし、イノベーションの創出、生産性向上等の成果を上げている企業を「新・ダイバーシティ経営企業100選」等として選定します。
- 女性活躍に優れた上場企業を「なでこ銘柄」として選定し、中長期の成長力がある優良銘柄として投資家に紹介することを通じて、各社の取組の加速化を図ります。
- 金融機関、専門家等が一体となりダイバーシティ経営に取り組む中小企業を支援するインセンティブの設計など、ダイバーシティ経営が自立的に普及する仕組みを検討します。

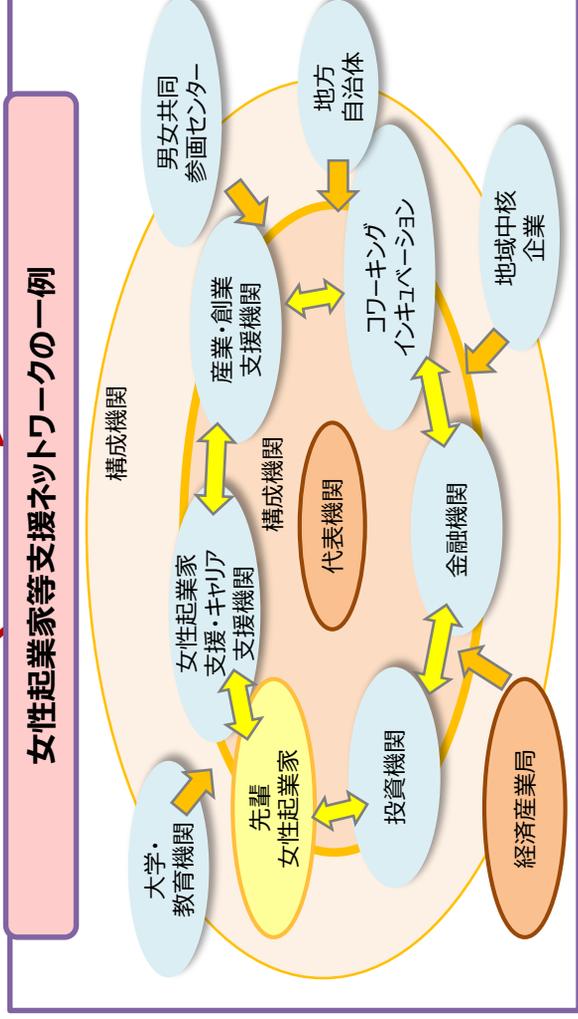
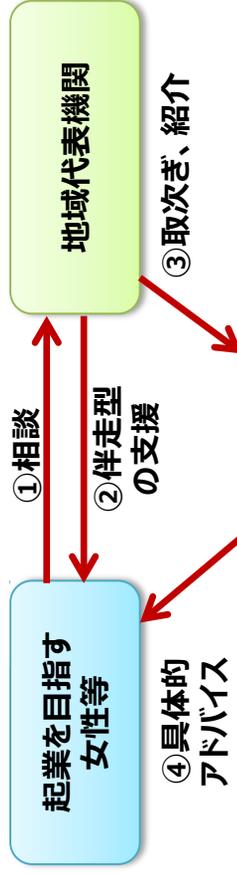
(2) 女性起業家等支援ネットワーク構築事業

- 平成28年度から全国10箇所に形成している地域の金融機関や産業・創業支援機関、女性に対するキャリア相談を行う民間事業者・NPO等を中心とした「女性起業家等支援ネットワーク」における活動を補助します。
- また、平成28年度から平成30年度の活動の中で収集・整理した女性起業家等支援ノウハウ等を全国的に展開するとともに、全国における支援ネットワーク自立化のための仕組みを検討します。

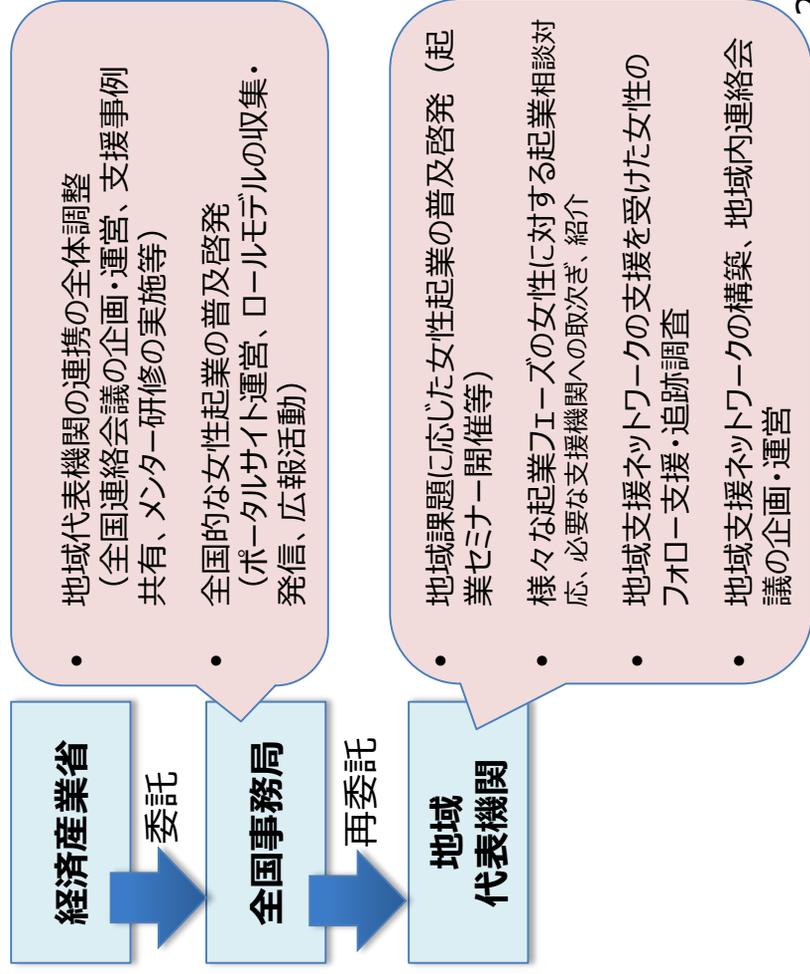
女性起業家等支援ネットワーク構築事業

- 女性の起業を支援するため、地域の金融機関や産業・創業支援機関等を中心とした「女性起業家等支援ネットワーク」を全国10箇所に形成（平成28年度より事業開始）。
- 起業を志すあらゆる段階にいる女性や、事業成長に課題を抱える創業間もない女性起業家を確実にフォローできる体制をネットワーク内において構築。既存の起業家支援施策への橋渡し等、女性のニーズに応じたきめ細やかな支援を行う。

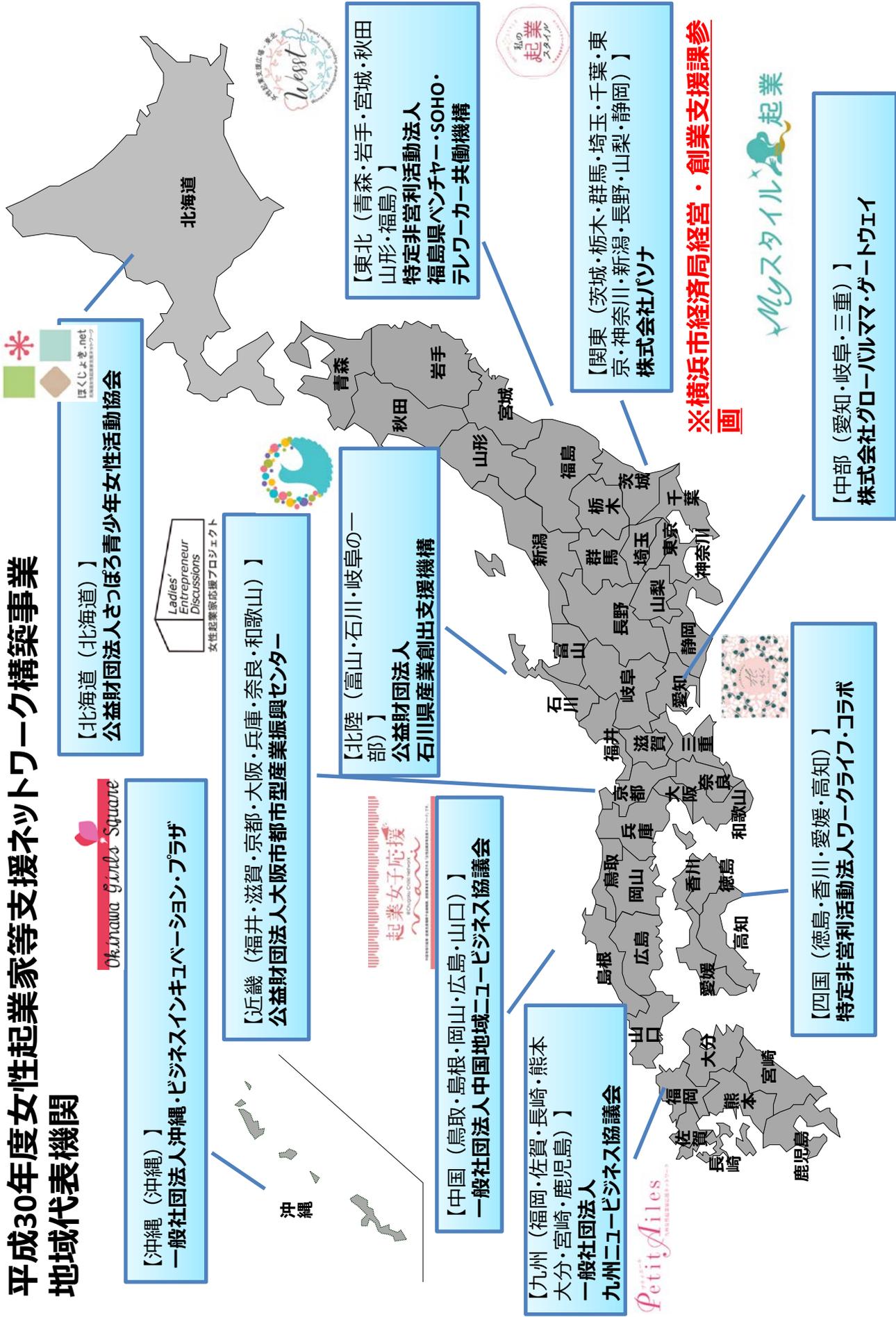
事業スキーム



事業実施体制・活動内容



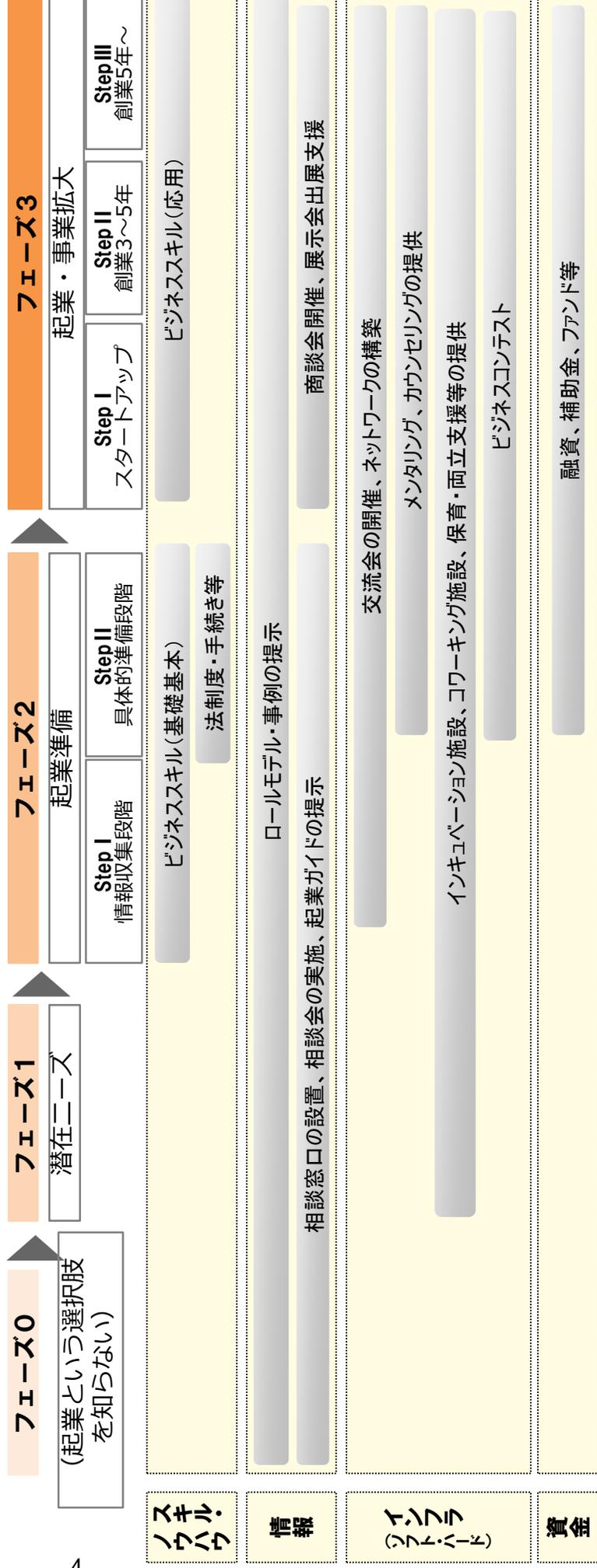
平成30年度女性起業家等支援ネットワーク構築事業 地域代表機関



女性起業家支援の課題

- 女性固有の起業課題は起業を決意・準備し始める前の段階（フェーズ0・1）に多く存在。
- 従来の起業支援で中心的役割を果たしているのは起業準備以降（フェーズ2・3）。これらの創業支援機関は、フェーズ0・1の層に対して十分に支援策を届けられていないとの課題認識あり。
- フェーズ0・1層に対する支援策で先進的な取組事例も存在するが、支援策が地域内に限定、または支援策が特定の地域に偏在。
- 多種多様な女性の起業ニーズに対応するには、フェーズ0・1体制の強化と併せて、地域横断的な連携支援体制の構築が必要。

起業準備フェーズと主な支援策一覧



- 女性起業家等支援ネットワークの中で生まれた、女性起業家を支援する企業やNPO法人等の支援事例コンテスト『**女性起業家支援コンテスト（ジョキコン）**』を初開催
- 男性に比べ全体数の少ない**女性起業家の支援者の認知を高め、取組の横展開を図る**ことが目的。

開催概要

審査会&表彰式：

平成30年1月11日（木）

応募者：

「女性起業家等支援ネットワーク」に属する機関

応募件数：66件

審査基準：

- 4つの審査ポイント（①連携性、②伴走性、③広域性、④地域性）に基づき、一次審査（書類審査）を実施。
- 平成30年1月11日（木）には、一次審査を通過した支援機関が、支援事例のポイントについてプレゼンを実施。外部審査を経て、表彰機関を決定し、表彰式を開催。

＜総合部門＞ 4つの審査ポイントの総合評価で優れた支援事例を表彰

発表者（支援機関）	地域
公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会、ワタシプラス	北海道
特定非営利活動法人福島県ベンチャー・SOHO・テレワークー カー共働機構	東北
公益財団法人大阪市都市型産業振興センター	近畿
一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会	中国
一般社団法人沖縄・ビジネスインキュベーション・ブラザ	沖縄

＜個別部門＞ 4つの審査ポイントの観点から優れた支援事例を表彰

発表者（支援機関）	地域
株式会社ワタラクシア	北海道
株式会社ビズホープ	関東
株式会社グローバルママ・ゲートウェイ	中部
株式会社ジーアンドエス	北陸
大阪信用金庫	近畿
特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ	四国

女性起業家等支援ネットワークにおける支援連携

- これまでネットワークに参画している様々な支援機関が連携し普及活動や支援を実施。

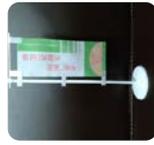
(東北) 起業女子応援フェア

- 東北6県を対象に、仙台市にて、起業をより身近に感じてもらうためのフェアを開催。**102名の女性が参加**。
- 女性起業家による起業体験のパネルディスカッション、先輩女性起業家との個別相談ブース、税・融資相談ブースなどを設置し、**参加者の8割が「今後、何らかの起業支援を受けたい」との回答**。

先輩女性起業家との相談



融資・税・社保専門家との相談



構成機関に共通の卓上のぼりを配布し、相談窓口を設置

(中国) キラリ女子フェス

- これから何かを始めたい女性に起業を普及するため、広島リビング新聞社と共催で「キラリ女子フェス」を開催。**115名の女性が参加**。
- フェーズ0・1の層は「起業」にハードルを感じるため、あえて「起業」の言葉を表に出さないイベントだったが、キャリアカウンセラーとの相談ブース設置等により、**来場者のうち50名が「起業に関心あり」と回答**。

「キラリ女子フェス」でキャリアカウンセラーとの相談の実施



創業サポーターセンターで起業方法の説明



先輩女性起業家や、金融機関からアドバイス



現在、個人向けサービス業提供店舗設置に向けて準備中

起業準備により事業内容を固めた事例

Cafe nijineco 佐々木まゆみ氏

(2014年、宮城県にて、女性起業支援機関(株)ゆいネット)のインキューションカフェEを利用して、起業)

- 民間支援機関の起業セミナーに通う中で、飲食店で働いた経験から、一人でもできる規模のランチのレストランなどを開きたいと漠然と考えていた。
- しかし、テストマーケティングでの**1日体験運営を通して**、レストランはオペレーションが難しいことが分かり、**ドーナツカフェEに目標を定めた**。